

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	生活援助 I (活動と休息・安楽)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	20 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時間	前期	教室名	202, 203、実習室
担 当 教 員	寺崎 経子	実務経験と その関連資格	総合病院にて、臨床経験 計15年(主に小児病棟勤務) 地域の学校看護師経験			
《科目目標》						
対象の状態に応じた活動・休息の援助を原理原則に基づき安全安楽に実施する方法を考え実践できる 対象の状態に応じた安楽の援助を原理原則に基づき安全安楽に実施する方法を考え実践できる						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】課題20%、理解度テスト20%、終講試験60%の割合で評価する。(技術試験合格を必須とする) 【評価基準】成績は優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満で表す。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術II メディカ出版						
《授業外における学習方法》						
①事前・事後学習を行い授業に出席する。 ②指示している動画を視聴して出席する。						
《履修に当たっての留意点》						
①提出物は、クラス単位で回収し指定した時間を守り提出する。 ②グループワークや意見交換は時間を有効に積極的に行う。 ③安全、安楽な援助を実施できるように自己で技術の向上に努める。 ④言える、書ける、行動できるよう主体的学習姿勢で臨む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	姿勢、体位を理解できる。		教科書 配付資料	事前学習課題1を授業までに実施。	
	各コマにおける授業予定	事前学習で同一体位で30分、動かない体験を実施。体位の調べ学習とGW(グループワーク)で分からないこと解決。			学習課題1は最後まで記入し提出	
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	安楽な体位・良肢位を理解できる。		教科書 配付資料 演習(ジャージ)	事前学習課題2を授業までに実施。 教科書P58～61まで読んでくる	
	各コマにおける授業予定	実際に安楽な体位を体験する。 ①仰臥位 ②側臥位 ③ファーラー位・セミファーラー位をグループで看護師役、患者役と観察者、説明者で体験。グループで学習し分かったことをワークシートに記入。			学習課題2は最後まで記入し提出	
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	ボディメカニクスを用いた援助の実践がわかる。		教科書 配付資料 演習(ジャージ) GW	P103、105、106の動画をみてる。 事前に課題3を授業までに実施。	
	各コマにおける授業予定	①ボディメカニクスとは②看護者の身体の安定を良くする③作業域を考慮する④力を効率良く用いるをグループで看護師役、患者役と観察者、説明者で体験。グループで学習し分かったことをワークシートに記入。			学習課題3は最後まで記入し提出	
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	体位変換をボディメカニクスを用いて実践できる。		教科書 配付資料 演習(ジャージ)	「体位変換①～⑤」の手順書を事前に作成。 演習後分かったことを追加する。 P216、218、219の動画をみてる。	
	各コマにおける授業予定	①水平移動②仰臥位から側臥位③仰臥位から長座位④仰臥位から端座位⑤端座位から立位 安楽枕を使用。患者役と看護師役を体験。 看護師体験を動画撮影し振り返る。体験を動画撮影し振り返る。				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	床上運動(関節可動域訓練)、歩行介助が実践できる		教科書 配布資料 演習(ジャージ) GW	「床上運動」「歩行介助①～⑤」の手順書を事前に作成。 演習後分かったことを追加する。	
	各コマにおける授業予定	①床上運動(関節可動域訓練)②歩行介助③杖を用いた歩行介助④歩行器を用いた歩行介助⑤松葉づえを用いた歩行介助 看護師役、患者役で体験、リスクについてGWで理解深める				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	車椅子移動、ストレッチャー移動ができる。 関節可動域を理解し床上運動を実施できる。	教科書 配布資料 演習(ジャージ)	学習課題4、5は事前学習、授業終了後提出 「移動・移送①～③」の手順書を事前に作成。 P223、224、225、231、235の動画をみってくる。
		各コマにおける授業予定	①車椅子への移動②車椅子での移送③ストレッチャー移動・移送を患者役、看護師役を体験する。体験を動画撮影し振り返る。		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	左麻痺患者の移動について安全・安楽に配慮した援助を理解できる。	教科書 配布資料 演習(ジャージ) GW	学習課題6は事前学習グループワーク、演習での学びを追加し、授業終了後提出
		各コマにおける授業予定	①左片麻痺患者の特徴 ②援助時の留意点や配慮 課題を用いて、プレゼンテーションしながら、学びを共有する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	左麻痺患者の移動について安全・安楽に配慮した援助を実践できる。	教科書 配布資料 演習(ジャージ) GW	技術チェックリストを基に技術を実施し、自己の課題を明確にする。
		各コマにおける授業予定	①ベッドから座位②座位から車椅子③車椅子の移送④車椅子からトイレ⑤トイレから車椅子⑥車椅子からベッド⑦ベッドから臥床の各グループロールプレイ発表		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	左麻痺患者の車いす移乗が安全・安楽に配慮し実践できる。	技術テスト(全員) 小テスト 教科書 配布資料	看護師役、患者役、観察役(撮影含む)に分かれ順番に技術試験を受ける 待機者は理解度テストと自己学習
		各コマにおける授業予定	【技術チェック】 ベッド上臥床位から端坐位、端坐位から車いす移乗まで 【理解度テスト】 小テストで自己の理解度を把握し、調べ学習		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	村田先生シラバス参照		
		各コマにおける授業予定	村田先生シラバス参照		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	村田先生シラバス参照		
		各コマにおける授業予定	村田先生シラバス参照		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	村田先生シラバス参照		
		各コマにおける授業予定	村田先生シラバス参照		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	村田先生シラバス参照		
		各コマにおける授業予定	村田先生シラバス参照		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	村田先生シラバス参照		
		各コマにおける授業予定	村田先生シラバス参照		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験		
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		